

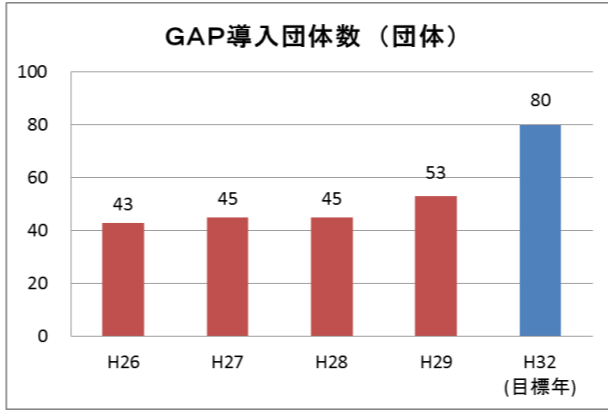


# みやぎ食と農の県民条例基本計画の推進に向けた 平成29年度事業の実施状況及び平成30年度の主な取組(概要版)




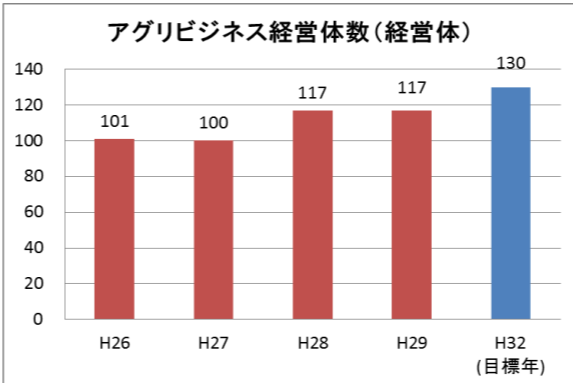
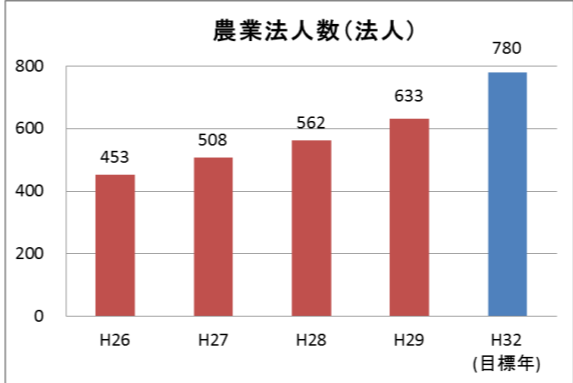
環境生活農林水産委員会配布資料  
平成30年8月21日  
農林水産部

資料2

## I 消費者が求める安全・安心な食料の安定供給

平成29年度主な施策の実施状況		主な推進指標の達成状況等	平成30年度の主な取組
<b>施策</b> ①② 消費者と農業者の安全確保の相互理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業生産工程管理（GAP）実践普及拡大のため生産者等を対象とした研修会の実施及びGAP指導員の育成を実施。また、農産物の放射性物質検査等を実施し定期的に公表</li> <li>●小中学校が行う農業体験学習支援や高校生地産地消お弁当コンテスト、食材王国みやぎ「伝え人」等を活用した食育の取組支援。学校給食や飲食店・量販店等との連携及びイベント等を通じた地産地消の推進</li> </ul>  <p>GAP研修会の様子</p>  <p>高校生地産地消お弁当コンテスト</p>	<p>◎農業法人等のGAPへの取組が増加</p>  <p>◎農業体験等の学習に取り組む小中学校の割合は増加</p> <p>目標値：100% 平成27年度 71.2% → 平成29年度 82.4% (隔年調査)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業法人や生産組織等を対象にGAP導入を支援するとともに、GAP指導員を育成する。【GAP認証取得推進事業】</li> <li>●畜産物の生産段階における「飼養衛生管理基準」の周知徹底及び家畜伝染病の発生予防とまん延防止を推進する。【家畜衛生対策事業、家畜伝染病予防事業】</li> <li>●農畜産物の放射性物質検査を実施し、県産農産物の安全性確保に努める。【農林水産物放射性物質対策事業】</li> <li>●高校生地産地消お弁当コンテストの開催、食材王国みやぎ「伝え人」を活用した食育活動、地産地消推進店との連携等により、全県的な地産地消の取組を推進する。【食育・地産地消推進事業】</li> </ul>

## II マーケットインによる競争力と個性のある農業の持続的な発展

平成29年度主な施策の実施状況		主な推進指標の達成状況等	平成30年度の主な取組
<b>施策</b> ③④ 競争力のある担い手の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アグリビジネスに取り組む経営体への専門家派遣等ビジネス展開支援や、新商品開発・販路拡大支援を実施。経営発展段階に応じた3段階の経営者養成講座を開催</li> <li>●震災後設立された大規模農業法人を中心に、民間専門家を活用した伴走型支援を実施</li> <li>●地域農業の中核となる認定農業者・組織経営体への経営発展支援。新規就農者の確保・育成に向けた相談会・研修等の開催及び企業の農業参入を推進</li> </ul>  <p>農産物販売販路拡大支援 FOODEX JAPAN 2018での県ブースの様子（幕張メッセ）</p>  <p>伴走型支援による現地検討の様子（涌谷町）</p>  <p>宮城県への参入予定企業の講演による企業参入セミナーの開催</p>	<p>◎震災後、アグリビジネス経営体数、農業法人数ともに増加</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6次産業化等のアグリビジネスを推進するとともに、商品開発や販路拡大等に必要な機械・施設の整備に要する助成を行う。【アグリビジネス経営確立支援事業、みやぎ6次産業化トライアル事業】</li> <li>●農業法人等の経営課題や問題点の解決に向け、「農業経営相談所」の設置や、民間専門家等を活用し支援する。【農業経営者総合サポート事業、農業法人経営安定化ハンズオン支援モデル事業】</li> <li>●ICTを活用した農業経営のカイゼン及び農産物の生産工程管理を行おうとするモデル取組を支援する。【農業のカイゼンモデル実証事業】</li> <li>●都市部等の若者との交流活動等への支援や障害者の農業就労を支援する「農福連携」の取組を支援する。【みやぎの田園回帰促進人材確保・支援事業】</li> <li>●企業が提案する新たな技術やマネジメント手法等の普及・実証について、県・企業・農業法人の連携で実施する。【みやぎの企業連携促進事業】</li> </ul>

平成29年度主な施策の実施状況

主な推進指標の達成状況等

平成30年度の主な取組

施策

- ほ場の大区画化、水田の汎用化等の整備を実施するとともに、農地中間管理機構の機能強化による担い手への農地集積・集約の推進、耕作放棄地解消に向けた研修会の開催
- 新品種「だて正夢」のプレデビューのプロモーションを展開。「米どころ宮城の復興」へ向け評価向上の取組を実施。また、食味レベルアップのための技術対策により「ひとめぼれ」の特Aを奪還し、省力・低コスト技術として直播栽培を推進
- 平成30年産米の「生産の目安」により、需要に応じた生産への取組
- 水田フル活用のため、飼料用米等の作付を関係機関と連携し推進。また、需要に対応した麦・大豆等の安定生産を推進

⑤⑥ 優良田んぼ生産者による確保と有効活用による生産の振興



奥松島地区洲崎工区 営農再開



農地整備事業と農地中間管理事業の連携 モデル地区（柴田町）



「だて正夢」登録生産者（登米市）

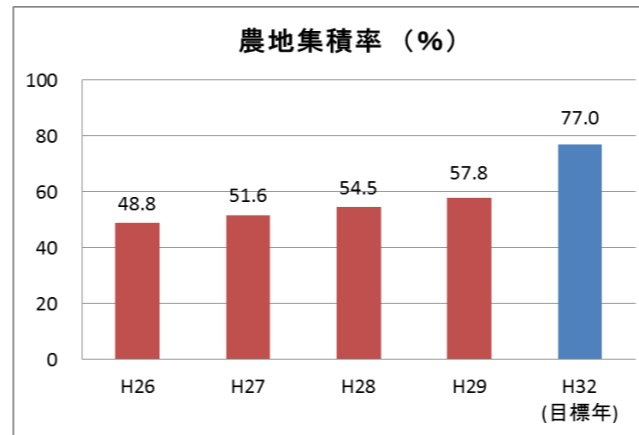
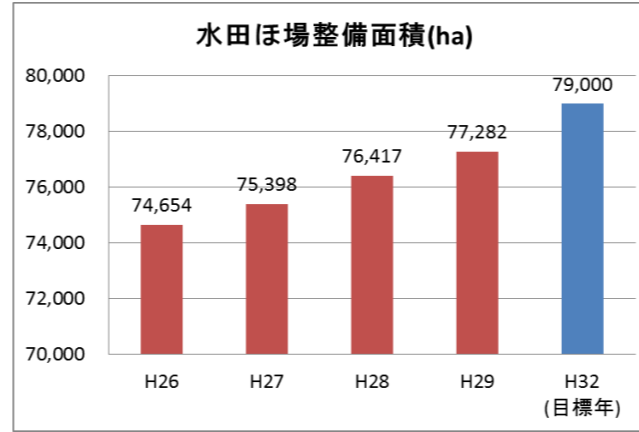


玄米食向け新品種の「金のいぶき」試食会

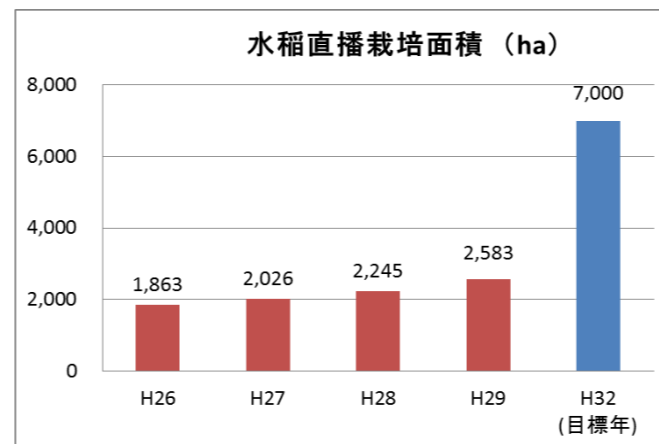


新品種「だて正夢」ロゴデザイン発表

◎水田のほ場整備（20a以上の汎用化水田）は、目標どおりに実施、中間管理事業の取組の進捗により集積率は増加



◎水稲の生産コストの低減手法として、直播栽培技術が注目されていることから、栽培面積は増加



●農地の利用集積による経営基盤の強化を図るため、農地の大区画化・水田の汎用化に向けたほ場整備を推進するとともに、被災農地の早期復旧を促進する。【農地整備事業】

●地域の中心となる経営体や農地利用のあり方等を定めた人・農地プラン又は経営再開マスタープランの作成及びプラン実現に向け、農地集積等、必要な取組を支援する。【人・農地プラン推進事業】

●農地中間管理事業により担い手への農地集積・集約を促進する。【農地中間管理事業】

●被災農地の地力回復等の取組を支援する。【被災農地再生支援事業】

●関係団体と連携し「みやぎ米ブランド化戦略」に沿った「だて正夢」等のPRを展開する。また、玄米食向け新品種「金のいぶき」の新しいニーズへの取組を支援する。また、直播専用播種機等の導入支援を行う。【新「みやぎ米」創出戦略事業、宮城米広報宣伝事業、宮城の「金のいぶき」生産拡大事業】

●国が示した米政策改革の着実な推進に向け設定した平成30年産米の「生産の目安」に基づき、各地域において需要に応じた生産に取り組むよう支援する。【経営所得安定対策等推進事業】

●麦・大豆の生産性・収益性の高い産地づくりを推進するとともに、麦類については、新品種の「ホワイトファイバー」、「夏黄金」を導入するなど需要に応じた供給体制の構築を図る。【売れるみやぎの麦・大豆生産拡大事業】

●水田フル活用と所得向上のため、飼料用米の多収性品種の作付拡大に向けた種子確保や地域内における利用を促進する。【飼料用米利用促進事業】

平成29年度主な施策の実施状況

主な推進指標の達成状況等

平成30年度の主な取組

施策

⑦⑨「食の材料競争力のみやぎ」による畜産の戦略的展開強化と畜産物の安定供給  
⑩生産力と品質を高める農業技術の高度化

- 園芸重点品目を中心とした産地づくり支援や県内外での県産品のPRを実施。また、関係機関との連携による先進的園芸経営体への支援や生産意欲向上に向け園芸振興大会を開催
- 試験研究機関では13の普及技術を開発。被災地を新たな食料供給基地として再生させるため、産学官連携による6つの大規模実証研究を実施。先進的施設園芸等でのICT活用によるスマート農業の推進
- 全国和牛能力共進会宮城大会では、種牛の部第2区で日本一を獲得。全出品区で上位入賞。「仙台牛」のブランド確立支援の実施
- 復興支援物産展等を通じた県産品の販路拡大支援や農林水産物輸出基幹品目の販売体制構築



いちごの県育成新品種「にこにこベリー」（農園研）



先進的園芸経営体でのトマトネットワークの勉強会（気仙沼市）



園芸振興大会の開催



東京丸ビルでの宮城県産品PR（東京）

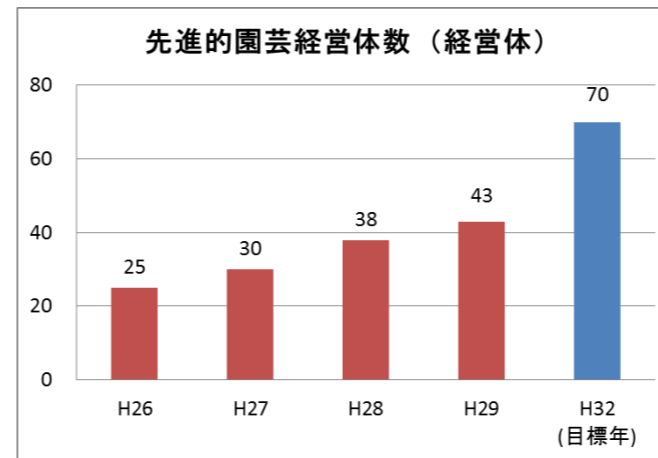
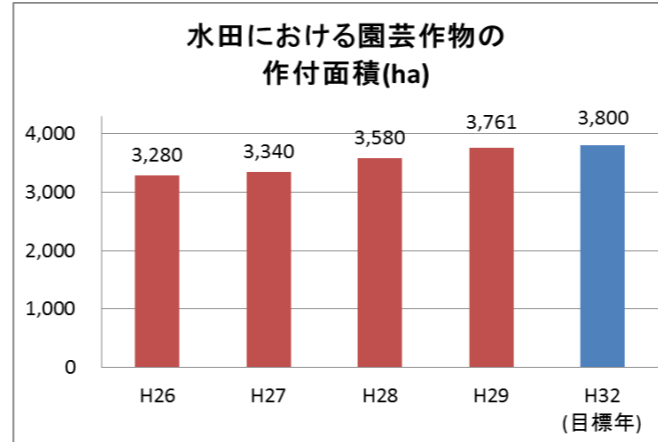


全共宮城大会 宮城県代表牛優等賞第1席受賞（夢メッセみやぎ）

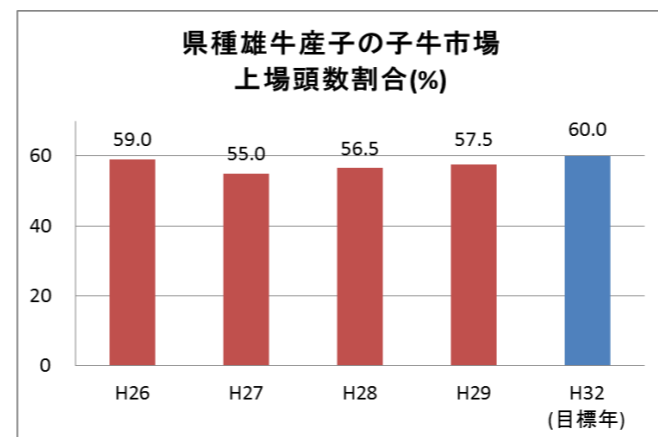


全共宮城大会 出品牛の様子（夢メッセみやぎ）

◎水田における園芸作物の作付面積は、加工・業務用野菜を中心とした作付誘導と復旧整備された大規模農地での取組推進により増加傾向  
先進的な技術を導入した園芸経営体は、沿岸部を中心に増加



◎「好平茂」号、「勝洋」号等新規種雄牛の利用が進んでいる



●「先進的技術を導入した施設園芸」と「収益性の高い土地利用型露地園芸」を推進し、技術の定着と経営の早期安定化を支援する。【園芸振興戦略総合対策事業、次世代施設園芸地域展開促進事業】

●水田農業から収益等の高い土地利用型露地園芸への転換誘導を図るため、機械化一貫体系の導入や加工・業務用野菜等への取組を推進する。【園芸振興戦略総合対策事業、園芸作物生産転換促進事業】

●ICT等「スマート農業」の最先端技術による超省力・高品質生産の展示・実証による、経営の効率化高度化を推進する。【スマート農業実証モデル推進事業】

●県有基幹種雄牛「茂福久」号等を活用した質・量とも優れた生産性の高い肉用牛づくりを推進し、「仙台牛」ブランドの確立に努める。【トップブランドに向けた「仙台牛」の差別化事業】

●畜産生産基盤の拡大を図るため、草地の造成・整備及び畜舎等の施設整備を推進する。【畜産基盤再編総合整備事業】

●県産食材のブランド化に取り組む生産者等への支援、首都圏での「食材王国みやぎフェア」の開催等、県産ブランド確立に向けた取組を支援する。【県産ブランド品確立支援事業】





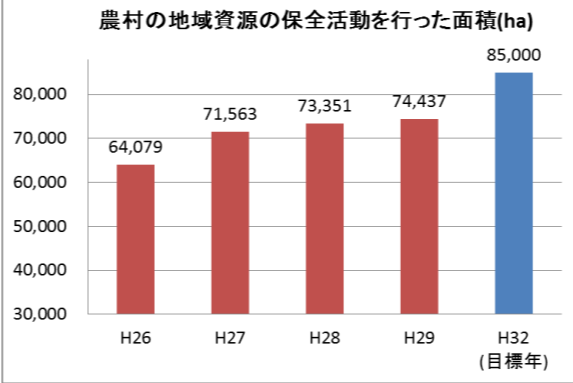
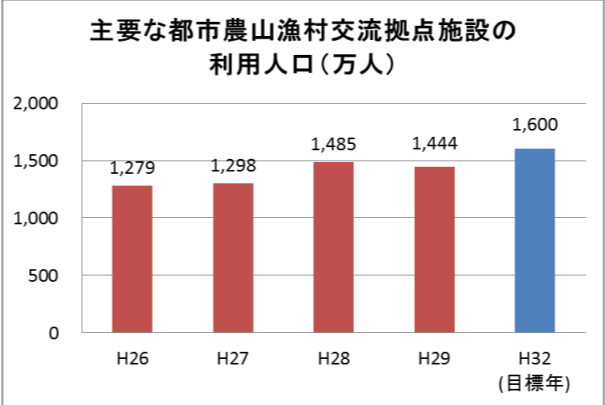
●「宮城県農林水産物等輸出促進戦略」に基づき、海外で輸出基幹品目のプロモーションを実施し、新たな販路開拓を目指す。【輸出基幹品目販路開拓事業】

●被災地を新たな食料供給基地として再生させるため、産学官連携による先端技術の大規模実証研究を継続して実施する。【食料生産地域再生のための先端技術展開事業】



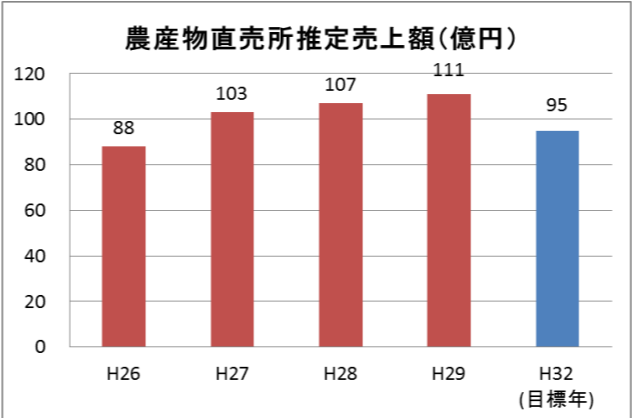
●オリジナル品種の開発・育成、新たな資材等の効果検証、AI（人工知能）を活用した労務管理や病害虫診断技術の開発等に国や他県と連携し取り組む。【県単独試験研究費、受託試験研究費】

●優良種雄牛の造成、遺伝子レベルでの家畜改良、飼料作物の増収技術開発等に国や他県との連携により取り組む。【県単独試験研究費、受託試験研究費】

### Ⅲ 農業・農村の多面的な機能の発揮

平成29年度主な施策の実施状況		主な推進指標の達成状況等	平成30年度の主な取組
<p>施策</p> <p>⑪⑫⑬ 環境にやさしい農業・農村の推進</p> <p>⑭ 農業・農村の多面的な機能の維持・発揮と管理と理解の向上</p>	<p>●地域住民が一体となった地域資源の保全活動に対する交付金等の支援、農林漁家レストランや農林漁家民泊等活動の支援、「田んぼの学校」や小学校の総合学習支援等による多面的機能への県民理解醸成等の推進</p> <p>●みやぎの環境にやさしい農業の推進のため、研修会や消費者交流会等を開催したほか、農産物認証制度・表示制度のPRパンフの配布により特別栽培農産物の啓発活動を実施</p>  <p>湯原地区 地域保全活動としての農道草刈り (七ヶ宿町)</p>  <p>みやぎグリーン・ツーリズムネットワーク大会 (村田町)</p>  <p>教育旅行における農泊体験 (南三陸町)</p>  <p>特別栽培農産物認証制度の栽培研修会 (登米市)</p>	<p>◎地域住民が協働で行う農地の保全活動面積は、年々増加</p>  <p>◎農産物直売所を中心に、農林漁家レストラン等の利用人口は増加傾向であったが、僅かに減少</p> 	<p>●農業者等が協働で行う農地や農業用水等の資源の維持・保全活動等、地域主体の取組を支援する。【多面的機能支払事業】</p> <p>●グリーン・ツーリズムアドバイザー派遣等により実践者や推進組織の活動支援を行う。【グリーン・ツーリズム促進支援事業】</p> <p>●都市と農山漁村の交流による新しい人の流れをつくるため、農林漁業体験の受入に取り組むグリーン・ツーリズム実践団体を支援する。【みやぎ農山漁村交流促進事業】</p> <p>●農業農村の役割及び多面的機能について、県民の理解を深めるため、土地改良区及び農業者とともにイベントの開催等を行う。【みやぎ田園環境教育支援事業】</p> <p>●農業水利施設を活用した発電施設の導入可能性調査等を実施する。【小水力等農村地域資源利活用促進事業】</p> <p>●地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し活動支援を行う。【環境保全型農業直接支援対策事業】</p>

### Ⅳ 農村の活性化に向けた総合的な振興

平成29年度主な施策の実施状況		主な推進指標の達成状況等	平成30年度の主な取組
<p>施策</p> <p>⑭ 中山間・沿岸地域等における農業振興と農村活性化</p> <p>⑮ 快適な暮らしを守る生活環境の整備</p>	<p>●農産物直売所等に対し、地域食材による商品製造・販売のための機械等整備や、アドバイザー派遣等により商品力・販売力向上を支援。企業訪問等により、農商工連携や6次産業化を支援</p> <p>●援農ボランティア、森林整備・資源活用ボランティア受入支援等により農村活性化を支援</p> <p>●市町村等が実施する侵入防止柵の設置や捕獲活動等の取組及び集落ぐるみの対策に対して支援を実施</p> <p>●用排水条件を改善するため、ため池や用排水施設等の整備を行うとともに、農村生活環境の改善のための集落排水整備を実施</p>  <p>筆甫中区大根収穫の援農ボランティア (丸森町)</p>  <p>電気柵設置について研修を受講する農業者 (岩沼市)</p>	<p>◎農産物直売所へのアドバイザー派遣やマーケティング調査等、販売力向上支援を実施した結果、推定売上額は増加</p> 	<p>●中山間地域の耕作放棄地の発生防止、水路・農道管理など多面的機能の維持に向けた活動等を支援する。【中山間地域等直接支払交付金事業】</p> <p>●県産ワインと食材のマッチングによる商品開発や県内ワイナリーを核とした交流人口の拡大を図る。【みやぎマリアージュ推進プロジェクト】</p> <p>●農産物直売所の魅力向上と集客拡大や、農産加工者の商品力・販売力等向上を支援する。【農産物直売・農産加工ブラッシュアップ支援事業】</p> <p>●鳥獣被害軽減のため、被害防止の普及啓発や人材育成を図るとともに被害防止活動を支援する。【鳥獣害防止対策事業】</p> <p>●ため池及び用排水施設を整備し、農村の防災機能の充実を図る。【ため池等整備事業】</p>